

会 議 記 録

会議名 決算特別委員会建設分科会

開催日 令和3年9月9日(木) 開会 午前10時00分

閉会 午前10時29分

出席者 委 員 分科会長 永 田 武 志
森 戸 雅 孝 大 谷 好 一 茂 呂 健 市
福 富 善 明 大阿久 岩 人
議 長 小 堀 良 江
傍 聴 者 小 平 啓 佑 浅 野 貴 之 川 上 均
大 浦 兼 政 古 沢 ちい子 青 木 一 男
内 海 まさかず 小久保 かおる 針 谷 育 造
氏 家 晃 千 葉 正 弘 白 石 幹 男
広 瀬 義 明 関 口 孫一郎 針 谷 正 夫
梅 澤 米 満 福 田 裕 司 中 島 克 訓

事務局職員 事務局長 神 永 和 俊 議事課長 江 面 健太郎
主 査 藤 澤 恭 之 主 事 齊 藤 千 明

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

都 市 建 設 部 長	宇	梶	貴	丈
都 市 建 設 部 技 監	石	塚	昌	平
上 下 水 道 局 長	河	田	正	雄
道 路 河 川 整 備 課 長	増	山	輝	之
道 路 河 川 整 備 課 治 水 対 策 室 長	瀬	下	敏	行
道 路 河 川 維 持 課 長	深	津		悟
都 市 計 画 課 長	高	野	義	宏
市 街 地 整 備 課 長	大	塚	和	美
公 園 緑 地 課 長	芳	野	英	明
建 築 住 宅 課 長	稲	田	菊	二
建 築 指 導 課 長	大	橋		涉
上 下 水 道 総 務 課 長	堀	江	克	美
水 道 建 設 課 長	牧	野	久	雄
下 水 道 建 設 課 長	大	森	克	美

令和3年第6回栃木市議会定例会
決算特別委員会建設分科会議事日程

- 令和3年9月9日 建設常任委員会終了後 全員協議会室
- 日程第1 認定第1号 令和2年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について（所管関係部分）
- 日程第2 認定第6号 令和2年度栃木市水道事業会計決算の認定について
- 日程第3 認定第7号 令和2年度栃木市下水道事業会計決算の認定について

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（永田武志君） ただいまの出席委員は6名で、定足数に達しております。

ただいまから決算特別委員会建設分科会を開会いたします。

（午前10時00分）

◎諸報告

○分科会長（永田武志君） 当分科会に送付されました案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（永田武志君） 本日の議事日程は、配付のとおりであります。

◎認定第1号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、認定第1号 令和2年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管関係部分を議題といたします。

なお、各会計の決算に対する説明は、8月27日に開催された決算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付により済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については9月22日水曜日に開催される全体会において行いますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案につきましては部局所管ごとに歳入歳出を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際し、質疑の内容によりましては担当部局長等にご答弁いただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

また、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

まず、都市建設部所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の都市建設部を御覧の上、所管部分をご確認いただき質疑をお願いいたします。

質疑はありませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） それでは、決算書の313ページなのですけれども、定住促進支援事業費ということで……

○分科会長（永田武志君） すみません、所管が違います。

○副分科会長（森戸雅孝君） ああそうか。では、失礼しました。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 229ページ。よろしいですか。

○分科会長（永田武志君） はい、どうぞ。

○委員（福富善明君） 市道2135号線の交通安全施設整備事業の設計委託なのですけれども、これについては藤岡町時代から歩道整備をやる計画になっていたのですけれども、この設計委託についてはどんなものをやられたのだか、お教え願いたいのですが。

○分科会長（永田武志君） 299ページです。ページ数は大きな声でゆっくりお願いいたします。

増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答え申し上げます。

藤岡大前本郷におきます市道2135号線につきましては、昨年度は1級河川蓮花川をまたぐ橋りょうがございまして、この橋りょうが県の改修の計画期間になってございます。そのため、この蓮花川に架かる橋りょうの詳細設計を実施したところでございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 蓮花川の橋りょうの改修といいますと架け替えなのでしょうか。どんなふうにするのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答えいたします。

橋りょう部分につきましては、現在車道部分に架かっております橋りょうにつきましては、拡幅の河川の影響を受けないという状況から、その脇に歩道等を付け足すといいますか、架ける、そういった設計計画でございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 橋りょうの横に歩道ないし自転車道路の附属品をつけるということかなと思うのですけれども、橋りょうだけだとこの前後の中学生が通学している場所だと思うのですけれども、やはりここだけの話ではなくて、どこら辺まで整備を行う予定ですか。

○分科会長（永田武志君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答え申し上げます。

この蓮花川を中心に延長500メートルの区間の計画で実施してございます。既に歩道が一部設置された区間もございまして、今後におきましては蓮花川の改修と併せた実施ということで計画を考えております。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 要望といたしまして、その先のほうへ行くとバンビ幼稚園があるのです。バンビ幼稚園があって、その後東武線の高架線があるのだけれども、高架線が2.3メートルの高さなので、なかなか通行がちょっと厳しいところがありますので、せっかくそのような計画されているのであれば、藤岡第二中学校まで行ける通学路として今後考えていただきたいと思うのですが、要望させていただきます。

○分科会長（永田武志君） 要望でよろしいですね。

○委員（福富善明君） はい。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。ございませんか。

茂呂委員。

○委員（茂呂健市君） 75ページかな、都市公園等占用使用料、電柱の使用料というか貸料だと思うのですけれども、これは前年と比べると100万円ぐらい下がっているのですけれども、どこか……

○分科会長（永田武志君） 茂呂委員、すみません、ページ数をもう一度大きな声でお願いします。

○委員（茂呂健市君） 79。

○分科会長（永田武志君） 79ページです。どうぞ。

○委員（茂呂健市君） いいですか。電柱の公園の使用料というか、これが前年は多分300万円ちょっといていると思うのですけれども、今年は220万円、どこかへ振り替えというか、何でこんなにという言い方はないのですけれども、差があるのかなと思ひましてお聞きします。

○分科会長（永田武志君） 答弁、どなたか。

芳野公園緑地課長。

○公園緑地課長（芳野英明君） お答えします。

都市公園の占用使用料につきましては、電柱だけではなくて、工事現場の仮設の事務所とかを貸していたりするお金も入ってまして、前年度についてはその量が若干少なかったということで、電柱の本数には変更はございませんでした。

以上です。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 229ページ……

〔「マイク」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） 299ページでよろしいですか。

○委員（福富善明君） そうです。

○分科会長（永田武志君） 執行部の皆さん、分かりますか。

もう一度お願いします。

○委員（福富善明君） 299ページ、市道1066藤岡富吉地区の市道拡幅工事の内容についてお聞きしたいのですが、

○分科会長（永田武志君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答え申し上げます。

昨年度実施いたしました道路改良工事につきましては、延長140メートル、幅員10.2メートルの改良工事を実施しております。内容といたしましては、片側に歩道を設置しまして、下層路盤までの工事を実施したところでございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） この路線については用地買収が入っていないのですが、用地買収のほうはどういたしましたか。

○分科会長（永田武志君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） 昨年度は、用地買収につきましては関係者と引き続き交渉を進めておりました。まだ一番東側の県道蛭沼川連線に接続する予定の部分の地権者と鋭意交渉をしているところでございます。昨年度はそういうことで用地の取得には至っておりません。

以上です。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 工事もよろしいのですが、用地買収してから工事が流れかなと思うので、そこら辺のところのやはり基本的な流れを見据えて交渉をお願いしたいのですが。要望をお願いしておきます。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 301ページの市道61268と61号が3本ぐらいある道路改良事業費ということで岩舟静、こちらで物件移転費等補償金ということで、これ物件移転補償だけでまだ工事のほうは着手していないようなのですが、この物件数、どのくらいの移転補償金ということで支払われているのか、お聞きしたいと思います。

○分科会長（永田武志君） 増山道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（増山輝之君） お答え申し上げます。

昨年本路線の物件移転等補償につきましては、用地の買収、取得に伴いまして、そこに関連する物件の移転になります。令和元年度から繰り越しして実施いたしました用地取得に伴う物件移転が

2件ございました。さらに、工事に伴います電柱等の移転、これがやはり2件ございます。合計4件実施いたしました。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、都市建設部所管の質疑を終了いたします。

ここで議事の終了した執行部の皆様はご退席いただいて結構です。大変お疲れさまでした。

〔執行部退席〕

○分科会長（永田武志君） 次に、上下水道局所管の歳入歳出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に当たりましては、分科会説明表の上下水道局を御覧の上、所管部分をご確認いただき、質疑をお願いいたします。

質疑はありませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） それでは、ページ数で257で、今これいただいている中で浄化槽の設置補助事業費ということで5,473万7,000円ということで決算額が出ておりますけれども、設置する槽によって若干ずれがあるとは思うのですけれども、どのくらいの件数が申請されてこの金額の決算になったのか。いわゆる5人槽とか7人槽とかいろいろそういうふうによってある程度補助金額というのは若干差が出てくるかと思うのですけれども、トータル的にいわゆる分けて把握してあれば、それでまたご回答いただければと思うのですけれども。

○分科会長（永田武志君） 大森下水道建設課長。

○下水道建設課長（大森克美君） お答え申し上げます。

では、人槽別にお答えいたします。5人槽の補助金が33万2,000円でございます、それが85基で2,822万円、7人槽の補助金が41万4,000円でございます、それが46基で1,904万4,000円、10人槽の補助金が54万8,000円でございます、それが5基で274万円、それと単独浄化槽の撤去についても補助しておりまして、それが1基当たり10万円、これが20基ございまして200万円、あと敷地内処理装置といいまして、浄化槽の排水先がないお宅につきまして、敷地内で浸透させる装置につきましても補助しておりまして、これが1基10万円なのですが、これが27基で270万円が補助の内容でございます。

以上です。

○分科会長（永田武志君） よろしいですか。

ほかにございますか。

福富委員。

○委員（福富善明君） 303ページです。雨水貯留・浸透施設補助金なのですが、これについては何件ぐらいの要望があったのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 大森下水道建設課長。

○下水道建設課長（大森克美君） お答え申し上げます。

雨水浸透槽のほうで2件で9万1,000円、雨水貯留槽のほうで5件ございまして8万2,000円。

以上でございます。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） ちょっと申請が少ないようなのですけれども、今後この補助金に対して雨水の対策についての効果度というのはどのくらいあるのでしょうか。

○分科会長（永田武志君） 大森下水道建設課長。

○下水道建設課長（大森克美君） 個人のお宅の浸透槽とか貯留槽でございまして、1軒ずつにつきましては、災害とかの効果というのは薄いかとは思いますが、それが各世帯数が多くなれば各世帯の宅地からの雨水の流出が多少なりとも削減されてきますので、より多くの方がそういう施設を設置していただければ多少の効果が出てくるのかなとは考えております。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） せっかくこういう補助金をつくられたもので、私は市民にPR度が少ないのではないかと思うのです。今後この補助金に対してどのようなPRをされていくのか、お考えをお伺いいたします。

○分科会長（永田武志君） 大森下水道建設課長。

○下水道建設課長（大森克美君） これまでも広報ですとかホームページ等では載せてPRはしてきておりますが、なかなか申請が少ない状況ではございますので、今後も一層PRに努めていきたいなど。広報あるいは戸別のチラシ等も考えましてPRに努めていきたいなど考えております。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、上下水道局所管の質疑を終了いたします。

◎認定第6号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） 次に、日程第2、認定第6号 令和2年度栃木市水道事業会計決算の認定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

質疑はございませんか。

森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） ページ数でいきますと24ページになりますか。老朽管更新事業費ということで2億1,202万5,000円と、これが決算で出ておりますけれども、これ老朽管の更新事業ということでこれからやっていくかと思うのですけれども、これでその今後更新するべき、いわゆるその旧管というのですか旧の石綿管といいたいでしょうか、そういった残りというのはあとどのくらいで更新が終わるのでしょうか、お聞かせいただければと思います。

○分科会長（永田武志君） 牧野水道建設課長。

○水道建設課長（牧野久雄君） お答えします。

石綿管の現在の残っています延長数につきましては、まだ約9キロメートル残っております。今後の予定につきましては、本年度令和3年度、令和4年度、令和5年度、3か年をかけまして施工予定となっております。3か年間で一応令和5年度でほぼ石綿管の市内の配水管は布設替の予定となっております。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

福富委員。ページ数をお願いします。

○委員（福富善明君） 森戸委員と同じ質問なのです。

○分科会長（永田武志君） 関連で。

○委員（福富善明君） 続けて質問させていただきます。

石綿管は岩舟と藤岡地区がほとんど布設されていると思うのですけれども、やはり石綿管については健康を害するようなものでありますので、早急中にやっていただきたいのですけれども、なかなか時間とお金がかかるかなと思うので、岩舟と藤岡の石綿管の残り数をお教え願いたいのですが、これからやる残り数。

○分科会長（永田武志君） 牧野水道建設課長。

○水道建設課長（牧野久雄君） お答えします。

令和2年度末の藤岡町の残延長が約3キロメートル、岩舟地域が約6キロメートル残っておりまして、合計で約9キロメートル残っております。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 岩舟が6キロメートルあると。あと令和3年、令和4年、令和5年、3年で2キロメートルずつやらなくてはならない。それは確保できるのですか。2キロメートルずつ。

○分科会長（永田武志君） 牧野水道建設課長。

○水道建設課長（牧野久雄君） こちらにおきましては、水道ビジョンの中の計画にも組み込まれておりますので、順次計画どおり3年、4年、5年で予算措置をしまして完了を目指しております。

○分科会長（永田武志君） 福富委員。

○委員（福富善明君） 石綿管については健康を左右するものですから、計画どおり令和5年度に完成するよう努力していただきたいというのが要望です。

以上です。

○分科会長（永田武志君） ほかにございますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎認定第7号の上程、質疑

○分科会長（永田武志君） 次に、日程第3、認定第7号 令和2年度栃木市下水道事業会計決算の認定についてを議題といたします。

お諮りいたします。本案については、収入支出を一括して審査いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もゆっくりお知らせ願います。

質疑ございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（永田武志君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（永田武志君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会長報告の作成については、正副分科会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、9月22日水曜日、午前10時から決算特別委員会全体会において分科会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして決算特別委員会建設分科会を閉会いたします。

（午前10時29分）